

第45回体育祭講評

埼玉県立越谷北高等学校長 下山 忍

今日は風も強く、雲行きも怪しい、万全のコンディションとは言えない1日でしたが、生徒諸君の熱気で見事な体育祭を実施できました。まずは赤団、優勝おめでとう！ 熱戦を制しての優勝を心から祝福したいと思います。リレーで強さを発揮した白団をはじめ、他の団もよく頑張ったと思います。各団とも団長のリーダーシップのもと、作戦を立て、協力して選手を選出したと聞いています。そして、メインの1つである応援合戦も見応えのあるものでした。時間のない中、早朝や昼休みを使いよく練習して、立派な作品を創り上げたと思います。振り付けの中心になったのは応援部の人が多いと聞いていますが、本当に御苦労様でした。

本日は、①最後まで諦めない全力疾走・全力の競技、そして②競技者と応援者が一体となった体育祭を見ることができました。本校は縦割りの団対抗です。その中で学年を超えた一体感を創り上げていました。私が、朝の開会式でお願いしたことを生徒諸君が成し遂げてくれたことをとても嬉しく思います。中間考査の直後で余り練習時間が取れず、昨日の予行も雨天のために体育館での口頭説明という状況の中で、生徒諸君は、ルールと時間を守り、円滑に競技を行ってくれました。「さすが越谷北高」だと思いました。この素晴らしい伝統を今後も伝えていってほしいと願っています。



3年生は、最後の体育祭を思い残すことなくやりとげることができましたか？ 2年生は、リーダーシップを発揮した3年生の姿を見て、来年の体育祭に向けて思うところがありましたか？ 1年生は、上級生と同じ団に属して戦うことによって、北高生としての一体感を実感したのではなかったでしょうか。

それから、進行にあたってくれた役員の生徒の皆さんや先生方の迅速かつ的確な動きにより素晴らしい体育祭となりました。

むすびにあたり、最後まで熱心に応援してくださった保護者の皆様に申し上げます。皆様の暖かい声援によって、生徒は全力で競技に取り組むことができました。これらに心から感謝し、講評といたします。